



AI vs. 教科書が読めない子どもたち

浜中町立茶内小学校長 富田直樹

前号で「Society 5.0」という超スマート社会の中で、AIと共存していく子どもたちにとって、「読解力」がキーワードであることをお伝えしました。本号から、子どもたちの実際の読解力について皆さんと考えたいと思います。

新井氏は大学生と接する中で、論理的な会話ができない、設問と解答との間で、会話が成立しないと感じる場面の激増に危機感を抱きます。そして、このことをきっかけにして、基礎的読解力を調査する「リーディングスキルテスト」を独自に開発し、全国2万5千人を対象に調査を実施しました。この調査は6つの分野で構成されています。「6つの分野」とは、AIの正解率が80%を超える「係り受け」や急速に研究が進んでいる「照応」、AIには難しいと考えられる「同義文判定」、AIには全く歯が立たない「推論」、「イメージ同定」、「具体例同定」です。具体の問題を見てみましょう。

【例題1 係り受け】

次の文を読みなさい。

天の川銀河の中心には、太陽の400万倍程度の質量をもつブラックホールがあると推定される。この文脈において、次の文中の空欄に当てはまる最も適当なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

天の川銀河の中心にあると推定されるのは()である。

- ①天の川 ②銀河 ③ブラックホール ④太陽

(正解 ③)

【例題2 照応】

次の文を読みなさい。

火星には、生命が存在する可能性がある。かつて大量の水があった証拠が見付かっており、現在も地下には水がある可能性がある。

この文脈において、次の文中の空欄に当てはまる最も適当なものを1つ選びなさい。

かつて大量の水があった証拠が見付かっているのは()である。

- ①火星 ②可能性 ③地下 ④生命

(正解 ①)

【例題3 同義文判定】

次の文を読みなさい。

義経は平氏を追い詰め、ついに壇ノ浦でほろぼした。

上記の文が表す内容と次の文が表す内容は同じか。「同じである」「異なる」のうちから答えなさい。

平氏は義経に追い詰められ、ついに壇ノ浦でほろぼされた。

- ①同じである ②異なる

(正解 ①)

まずは6分野のうち3分野の問題を示してみました。新井氏は、「AIにはまだ難しい分野である「同義文判定」「推論」「イメージ同定」「具体例同定」がどの程度できるかが重要です。AIと差別化して2030年を生き延びるには、この辺りの正答率は7割ほしいところです」と述べています。次号で残りの3分野の具体の問題を示します。